

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和3年度第6回）議事概要

日 時：令和3年10月4日（金）10：00～11：30

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第1会議室 ※Webex 使用

出席者：中釜斉理事長、間野博行理事、児玉安司理事、北川雄光理事、飯野奈津子理事、
北川昌伸理事、小野高史監事、近藤浩明監事、島田中央病院長、大津東病院長

I. 前回（令和3年度第5回）議事録の確認

- ・ 前回議事録について了承。
- ・ 前回議事録署名人を児玉理事と小野監事に依頼。

II. 報告事項

1. 研究倫理審査委員会の審査料の見直しについて

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ がん研究センターの研究者が他施設に異動する場合、研究を継続したいということであれば研究者に不利がないようにご配慮いただければと思う。
- 研究に支障が出ないように対応したいと思う。

2. 非常勤職員時間給単価の変更について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ 常勤職員は手厚い処遇がされている中で、非常勤職員の時間給単価、特に専門職に関してはかなり手薄だという印象があるので、このような単価になっている理由を教えてください。また、治験等協力者については被験者の単価か。
- 基本的に、常勤職員の時間に割り戻した単価で設定しているという理解である。非常勤の時間給単価も常勤の方々の俸給表を基に算定をしている。
- 1時間2,000円の方が2000時間働き、年収400万円が上限という状態で職種がカバーされてるとすると、何か調整手当があったほうが良いと思う。本当にこの単価なのかという疑問もあるが、何か補足があれば次回以降教えていただければと思う。
- 単価一覧表の中の治験等協力者については、臨床研究コーディネーターを指している。

3. 令和4年度予算厚生労働省概算要求について

資料に沿って報告された。

4. 政府の会議の状況

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・全ゲノムの解析については、研究班が決まり解析がスタートする段階にきている。全ゲノムの結果を患者還元するという点に主眼を置きながら、データの構築や利活用については日本全体としてのデータ議論の中に入れていくということである。

5. 広報実績等

資料に沿って報告された。

6. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

7. 8月分医業件数等

資料に沿って報告された。